

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『SNS における薬物乱用防止啓発が利用者の意識に与える影響』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合は問い合わせ窓口にご照会ください。なお、研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

なお、この研究は摂南大学「人を対象とする研究倫理審査委員会」の承認を得て実施しています。

【対象となる情報】

研究開始日より 2025 年 3 月 31 日までの間に、X (旧 Twitter) に摂南大学と京都府薬務課のアカウントから投稿される薬物乱用に関する啓発ポストに対する「閲覧数」「エンゲージメント数」「ブロック数」の集計情報を収集します。それ以外の情報については収集しません。(個人が特定できる情報は収集しません)

【研究期間】

2024 年 12 月 1 日より 2026 年 3 月 31 日まで

【研究責任者】

摂南大学 薬学部 医療薬学研究室 教授 高田 雅弘

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

この研究では、摂南大学と京都府薬務課で連携し、X (旧 Twitter) に薬物乱用についての啓発内容の投稿を行います。アカウントごとに異なる内容の投稿を行い、その投稿へ対する「閲覧数」「エンゲージメント数」「ブロック数」を調査することで、SNS 利用者が関心を持つ啓発内容を明らかにします。

調査した情報は研究者だけが閲覧可能とし、施錠できるロッカーにて厳重に管理いたします。研究結果は、関連学会での発表や学会誌への投稿など学術的に公表する可能性があります。公表の際に、個人が特定される情報は一切公開いたしません。

【利用又は提供を開始する予定日】

2024 年 12 月 1 日を予定しています。

○問い合わせ窓口

摂南大学 薬学部 医療薬学研究室

高田 雅弘

e-mail : takada@pharm.setsunan.ac.jp